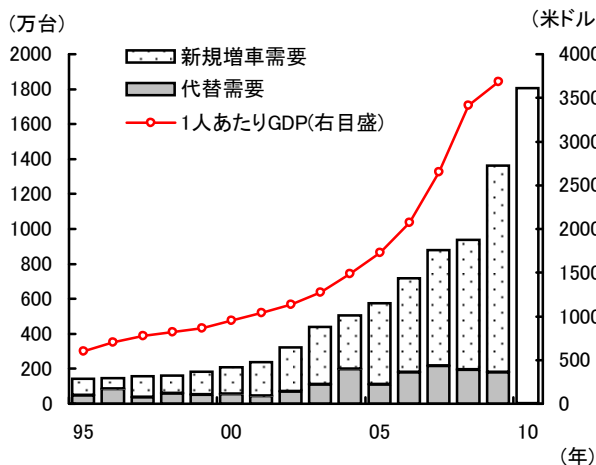


拡大持続が見込まれる中国の自動車市場

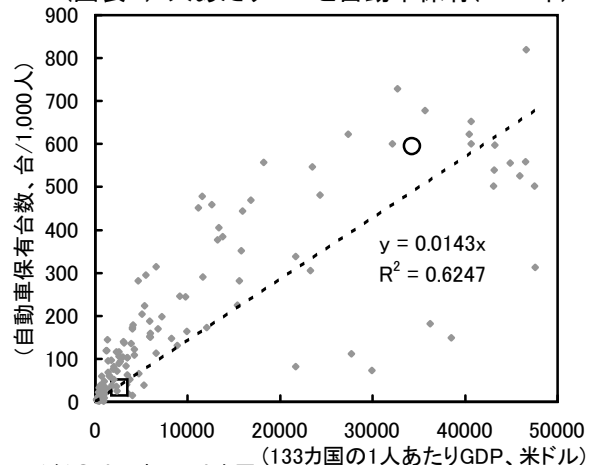
- (1) 中国の自動車市場は急拡大。自動車販売台数は2009年に1,365万台、2010年に1,806万台に達し、世界一に(図表1)。この要因として①所得水準の上昇、②自動車価格の低下、③政府による購入支援策、④2008年の買い控えによる反動の4点を指摘可能。とりわけ、所得水準の向上による購買力の高まりが最大の要因。
- (2) もっとも、中国の自動車普及はまだ初期段階。2007年の1,000人あたり自動車保有台数をみると、日本は600台弱であるのに対し、中国は32台(図表2)。2009年でも47台と日本の10分の1以下の水準(図表3)。
- (3) こうした状況を踏まえると、今後、所得水準の高まりに連動して、中国の自動車保有台数は一段と拡大して行く見通し。ちなみに、日本の経験を振り返ると、1960年代半ばから20年間で一気に普及(図表4)。2009年の中国は1973年の日本と同等の所得水準であることを勘案すれば、中国でも今後10~20年にわたり、自動車市場が急成長する公算大。
- (4) 自動車ストック台数の増加に伴い、代替需要も急拡大する見込み。一定の前提*を置いて試算すると、代替需要は2009年の180万台から2015年には550万台に増加する可能性。新規増車需要の拡大とあいまって、自動車需要を持続的に押し上げる見通し。
*2015年の1人あたりGDPが2009年の2倍の7,374ドルへ増加し、自動車保有が1,000人あたり94台に高まるなど。

(図表1)中国の1人あたりGDPと自動車販売台数



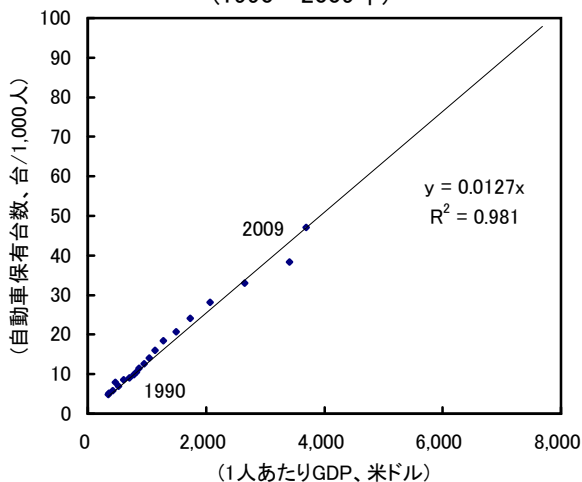
(注)代替需要とは、これまでの使用車を登録抹消した買い替え。
(資料)中国汽車工業協会、中国統計摘要2010をもとに作成

(図表2)1人あたりGDPと自動車保有(2007年)



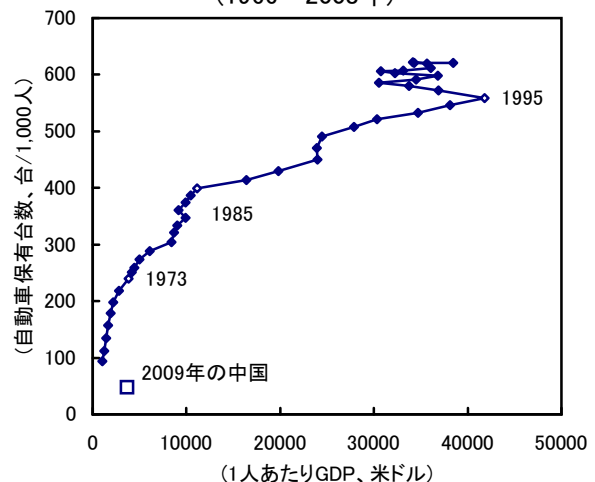
(注)○は日本、□は中国。
(資料)World Bankをもとに作成

(図表3)中国の1人あたりGDPと自動車保有
(1990~2009年)



(資料)中国統計摘要2010をもとに作成

(図表4)日本の1人あたりGDPと自動車保有
(1966~2008年)



(資料)World Bank、国土交通省、中国統計摘要2010をもとに作成